



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年8月10日

上場会社名 株式会社シンクロ・フード 上場取引所 東
 コード番号 3963 URL <http://www.synchro-food.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 兼 執行役員社長 (氏名) 藤代 真一
 兼 事業部長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 兼 執行役員管理部長 (氏名) 森田 勝樹 (TEL) 03-5768-9522
 四半期報告書提出予定日 2022年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	648	75.2	173	604.5	175	608.0	118	—
2022年3月期第1四半期	370	63.2	24	—	24	—	7	—

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 118百万円(—%) 2022年3月期第1四半期 7百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	4.44	—
2022年3月期第1四半期	0.27	—

(注) 2023年3月期第1四半期の親会社株主に帰属する四半期純利益及び包括利益の対前年同四半期増減は1,000%を超えるため、「—」と記載しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	3,449	2,990	86.7
2022年3月期	3,403	2,871	84.3

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 2,989百万円 2022年3月期 2,870百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	2,300	17.4	470	4.3	470	3.8	340	0.1	12.78	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	26,893,800株	2022年3月期	26,893,800株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	292,607株	2022年3月期	292,607株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	26,601,193株	2022年3月期1Q	26,531,663株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
(収益認識関係)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が進んだこと等により、社会経済活動を継続する動きも活発になり、経済状況には持ち直しがみられるようになりました。しかしながら、足元では感染者数が再び増加する等、依然として先行き不透明な状況であります。

このような事業環境のもと、「多様な飲食体験から生まれるしあわせを、日本中に、そして世界へと広げる。」をビジョンとして、新中期経営計画初年度の着実な実行と、リブランディングの推進、の2点を経営方針に掲げ、事業を推進してまいりました。

以上の結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は648,850千円(前年同期比75.2%増)、営業利益は173,911千円(同604.5%増)、経常利益は175,700千円(同608.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は118,325千円(前年同期は7,254千円の親会社株主に帰属する四半期純利益)となりました。

サービス別の売上高の内訳は、運営サービス521,303千円(同108.4%増)、出退店サービス83,905千円(同0.5%増)、その他サービス43,641千円(同19.1%増)であります。

セグメント別の状況は次のとおりであります。なお、当社グループの報告セグメントは、従来「メディアプラットフォーム事業」「M&A仲介事業」「その他事業」の3区分としておりましたが、「その他事業」の主体であった株式会社シンクロ・キャリアは2021年7月1日付で当社を存続会社とする吸収合併により消滅しております。これに伴い、当第1四半期連結累計期間より報告セグメントを「メディアプラットフォーム事業」「M&A仲介事業」の2区分へ変更しております。詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (セグメント情報等)」に記載のとおりであります。

(メディアプラットフォーム事業)

当事業は、「飲食店.COM」をはじめとした飲食店向けのサービス及び、「飲食店.COM」に対してサービス提供する不動産事業者や食材仕入事業者等の関連事業者向けのサービスによって構成されております。

「飲食店.COM」においては、社会経済活動が活発になったこともあり、出店開業、改装、業態変更等の動きに回復が見られ、ユーザーの登録が堅調に推移し、2022年6月末時点における登録ユーザー数が243,368件(前年同期比14.0%増)と順調に増加しております。求人広告においては、飲食店の人材採用の動きが活発化しており、受注件数及び受注単価が大きく伸長しました。

また、「飲食店.COM」に対してサービス提供する不動産事業者や内装事業者等の関連事業者については、4,708社(同4.2%増)と増加しております(注)。

以上の結果、メディアプラットフォーム事業の売上高は618,838千円(同84.0%増)、セグメント利益は179,188千円(同559.6%増)となりました。

(M&A仲介事業)

当事業は、飲食店の事業譲渡や株式譲渡等のM&A仲介及び、飲食店が設備等を残置したまま退去する居抜き譲渡のサポートサービスによって構成されております。

協力金等の公的支援が終了したことに伴い、M&A仲介及び居抜き譲渡ともに、売却案件数は堅調に推移しました。一方、成約件数については、一部の案件の進捗が滞ったことや譲渡実行時期が後ろ倒しになったこともあり計画を下回り推移しました。

以上の結果、M&A仲介事業の売上高は30,012千円(同4.9%減)、セグメント損失は5,487千円(前年同期は343千円のセグメント利益)となりました。

(注) 2022年6月30日時点において、不動産事業者、内装事業者、食材仕入事業者として登録している事業者数を記載しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は3,279,386千円となり、前連結会計年度末に比べて62,020千円増加しました。主な増加要因は、売上増加による現金及び預金の増加(前連結会計年度末比78,523千円増)等であり、主な減少要因は、前払費用の減少(同12,993千円減)であります。固定資産は170,163千円となり、前連結会計年度末に比べて15,489千円減少しました。以上の結果、総資産は3,449,549千円(同46,530千円増)となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は445,047千円となり、前連結会計年度末に比べて72,536千円減少しました。主な減少要因は、未払法人税等の減少(同78,031千円減)等であり、固定負債は14,199千円となり、前連結会計年度末に比べて1千円増加しました。以上の結果、総負債は459,246千円(同72,535千円減)となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は2,990,302千円となり、前連結会計年度末に比べて119,065千円増加しました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益計上による利益剰余金の増加(同119,068千円増加)によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、現時点において、2022年5月13日の「2022年3月期決算短信」に公表しました業績予想より修正はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,087,912	3,166,435
売掛金	101,617	101,761
棚卸資産	1,619	587
前払費用	32,951	19,957
その他	3,090	2,536
貸倒引当金	△9,826	△11,891
流動資産合計	3,217,366	3,279,386
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	40,536	24,464
工具、器具及び備品（純額）	2,765	2,878
有形固定資産合計	43,302	27,342
無形固定資産		
ソフトウェア	1,439	1,105
無形固定資産合計	1,439	1,105
投資その他の資産		
出資金	300	300
敷金及び保証金	114,611	114,739
繰延税金資産	22,275	21,676
その他	3,723	4,999
投資その他の資産合計	140,910	141,715
固定資産合計	185,652	170,163
資産合計	3,403,018	3,449,549

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	12,734	12,799
未払金	41,335	45,986
未払費用	25,625	22,418
契約負債	194,467	232,353
未払法人税等	140,948	62,917
未払消費税等	82,634	47,328
資産除去債務	8,865	8,882
その他	10,972	12,360
流動負債合計	517,583	445,047
固定負債		
資産除去債務	14,198	14,199
固定負債合計	14,198	14,199
負債合計	531,781	459,246
純資産の部		
株主資本		
資本金	510,517	510,517
資本剰余金	498,517	498,517
利益剰余金	2,020,688	2,139,756
自己株式	△159,349	△159,349
株主資本合計	2,870,374	2,989,442
新株予約権	863	860
純資産合計	2,871,237	2,990,302
負債純資産合計	3,403,018	3,449,549

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	370,293	648,850
売上原価	55,309	74,998
売上総利益	314,983	573,852
販売費及び一般管理費	290,296	399,940
営業利益	24,687	173,911
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	6	6
還付加算金	120	—
助成金収入	—	1,631
施設利用料収入	—	150
営業外収益合計	127	1,788
経常利益	24,814	175,700
特別利益		
新株予約権戻入益	—	3
特別利益合計	—	3
税金等調整前四半期純利益	24,814	175,703
法人税、住民税及び事業税	14,580	56,909
法人税等調整額	2,979	467
法人税等合計	17,560	57,377
四半期純利益	7,254	118,325
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,254	118,325

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
四半期純利益	7,254	118,325
四半期包括利益	7,254	118,325
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,254	118,325
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第1四半期連結会計期間において、株式会社ニコシゴトは清算終了により、連結の範囲から除外しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の(重要な会計上の見積り)に記載した内容から、重要な変更はありません。しかしながら、新型コロナウイルス感染症については、足元では感染者数が再び増加する等、依然として先行き不透明な状況であり、状況に変化が生じた場合には、当社グループの財政状態及び経営成績に少なからず影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	メディア プラットフォーム 事業	M&A仲介 事業	その他 事業	計		
売上高						
広告及び関連サービス(注4)	285,101	—	—	285,101	—	285,101
マーケティング(注5)	15,033	—	—	15,033	—	15,033
成功報酬(注6)	3,674	31,557	2,418	37,649	—	37,649
その他(注7)	32,511	—	—	32,511	—	32,511
顧客との契約から生じる収益	336,320	31,557	2,418	370,295	—	370,295
外部顧客への売上高	336,317	31,557	2,418	370,293	—	370,293
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2	—	—	2	△2	—
計	336,320	31,557	2,418	370,295	△2	370,293
セグメント利益又は損失(△)	27,168	343	△2,182	25,329	△641	24,687
その他項目						
減価償却費(注3)	1,415	102	51	1,569	—	1,569

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントに対して特定の資産は配分しておりませんが、減価償却費は配分しております。

4. 広告及び関連サービスは、主に求人広告の掲載及び店舗物件情報の掲載、並びに広告掲載の効果を高めるサービスによる収入であります。

5. マーケティングは、主に飲食店に関するインターネット調査並びに「飲食店.COM」会員向けのメール配信サービスによる収入であります。

6. 成功報酬は、主に「飲食店.COM」におけるマッチングサービス、キッチンカーシェア・マッチング事業における出店料収入並びに子会社におけるM&A仲介事業であります。

7. その他は、主に求職者に対するメール配信サービス、月額課金サービスによる収入であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	メディア プラットフォーム 事業	M&A仲介 事業	計		
売上高					
広告及び関連サービス(注4)	508,825	—	508,825	—	508,825
マーケティング(注5)	19,324	—	19,324	—	19,324
成功報酬(注6)	17,076	30,012	47,088	—	47,088
その他(注7)	73,612	—	73,612	—	73,612
顧客との契約から生じる収益	618,838	30,012	648,850	—	648,850
外部顧客への売上高	618,838	30,012	648,850	—	648,850
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	618,838	30,012	648,850	—	648,850
セグメント利益又は損失(△)	179,188	△5,487	173,701	210	173,911
その他項目					
減価償却費(注3)	17,227	292	17,520	—	17,520

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントに対して特定の資産は配分しておりませんが、減価償却費は配分しております。

4. 広告及び関連サービスは、主に求人広告の掲載及び店舗物件情報の掲載、並びに広告掲載の効果を高めるサービスによる収入であります。

5. マーケティングは、主に飲食店に関するインターネット調査並びに「飲食店.COM」会員向けのメール配信サービスによる収入であります。

6. 成功報酬は、主に「飲食店.COM」におけるマッチングサービス、キッチンカーシェア・マッチング事業における出店料収入並びに子会社におけるM&A仲介事業であります。

7. その他は、主に求職者に対するメール配信サービス、月額課金サービスによる収入であります。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループの報告セグメントは、従来「メディアプラットフォーム事業」「M&A仲介事業」「その他事業」の3区分としておりましたが、「その他事業」の主体であった株式会社シンクロ・キャリアは2021年7月1日付で当社を存続会社とする吸収合併により消滅しております。これに伴い、当第1四半期連結累計期間より報告セグメントを「メディアプラットフォーム事業」「M&A仲介事業」の2区分へ変更しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。